

～ 割高でも国産 ～

●日本政策金融公庫の2013年度上半期消費動向調査で、魚介類を購入の際、輸入品より割高でも「国産品を選ぶ」と回答した割合は54.9%で3半期ぶりに50%を超えたことが明らかになったそうです。逆に「国産品へのこだわりはない」と回答した割合は2012年の調査結果の20.7%が最高で本年度は17.1%。「国産が好ましい」と考える消費者は8割強も存在するわけで国産品の信頼性は非常に高いと言えます。魚介類だけではなく全ての品目で国産を選ぶ傾向が出ており、経済環境が好転していることが要因ではないかと分析しています。本当ですかね。。



～ 冷凍品・輸入品価格 軒並み上昇 ～

●アベノミクス効果で一気に円安になった影響により、輸入品全般で値上がりに歯止めが掛かりません。また、ある魚種では水揚げ自体が悪く入荷減による値上がりもあり良いニュースがありません。例えば、サーモンやブラックタイガーは値上げが追いつかない状態です。また、ボイルホタテやスルメイカも入荷自体が少ない状況です。イクラは、北海道の秋サケシーズンで昨年よりも漁獲は多く期待したいところですが、価格は高止まりの予想。ロシア物の動向次第ですが、値下がりする可能性は低そうです。頭の痛い状況が続きます。



入荷状況 & 商品情報

10月
甘エビ
ブリ
ガスエビ
ササカレイ
メギス
ミズウオ
アマダイ
メッキダイ
ノドグロ
ベニズワイガニ



底引き網漁

の解禁後は海水温が高かったこともあって例年の水揚げ量を下回る状況です。ミズウオやメギスといった大漁物も入荷が少ない状態です。定置網物も入荷が少なく今ひとつですが、これからの期待！柳サワラが入荷してきました。アカイカは終盤。これからアオリイカ、ヤリイカと入荷が見込まれます。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。